

# ⑫ 市岡製菓 株式会社 (徳島県小松島市)

～ 21世紀は女性の時代！

女性社員が夢と権限を持ちながら働ける会社！～

## 特・筆・す・べ・き・経・営・の・ポ・イ・ン・ト

- 6次産業化の取り組みで地元の農家と連携、地産外商で地域に貢献
- 様々な制度や工夫で社員を第一に考える家族主義経営を実践
- 男女関係なく大きな権限を委譲、女性社員が夢と権限を持って活躍できる職場

6次産業化の取り組みで  
地元農家と連携、地域貢献！

同社は、昭和24年に菓子製造・販売業として創業、流通菓子(半生菓子等)の製品を全国に提供する菓子メーカーで、関西の台所と呼ばれる徳島県で6次産業化への取り組みを通じ、県産品を活用した商品の開発・製造を行う。地域との関係性を重視、規格外の農作物をどうにかできないかという地元農家の相談にも向き合い新商品開発に活かすなど、地元の地域貢献にも積極的に取り組む。「地域から市岡製菓がなかったら困るという存在にならなければ、中小企業は生き残ることができない」と市岡社長は話す。

また、毎年、社員教育の一環で、新入社員は連携する農家の元で農作物の苗植えや芋掘りを行う。新入社員は地元徳島の素材の良さを知る機会となり、地域との関わりをもつ経験を通して仕事に対するやりがいを育んでいる。

社員を第一に考える、  
家族主義経営を実践！

同社では、社員を第一に考える家族主義経営を実践する。例えば、取引先の開拓で理不尽な相手であれば商談などを社員が断ることができる。社員が「お客様を選べる」というのは、代表者の社員第一という強い思いがうかがえる。ある社員は「大手企業との商談など責任の大きい仕事でも若手社員に任せてくれることも多く、大きな権限を与えられており、仕事に対するやりがいを感じる」と話す。

また、社員が早期離職せずに入社した会社で働き続けるには理想とする上司や先輩のような目指すべき社員像が必要であると、同社には里子方式で若手先輩社員が新入後輩社員をマンツーマンで指導する仕組みがある。新入社員の早期戦力化を図るとともに、先輩社員にとっても貴重な指導経験となり、権限委譲を可能とする若手社員の人材育成を実践する。

女性にも大きな権限を委譲、  
女性が活躍できる会社！

同社では、新卒採用において過去5年にわたって毎年新卒雇用を継続、女性社員の比率が65%、営業職に関しては9割以上と女性の比率が高いのが特徴となっている。社内の人事戦略においても、商品の企画開発部門の管理職など、社内の重要なポジションの多くを女性に任せており、積極的に女性を管理職に登用。実力があれば男女関係なく権限を持って大きな仕事を任せられ、能力ある女性社員が活躍できる企業風土が醸成されている。

また、仕事と子育てを両立できるよう社内の制度面では、産前産後の育児休暇を最大で3年間取得できる他、生活環境に合わせて勤務体系を選択できる。仕事の実務面では職場復帰後も本人が希望する部署で働くことができるなど、制度の充実にとどまらず、女性が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。



奨励賞を受賞した表彰式の様子



事務所の社員の皆さんの集合写真



新入社員が地元農家の方と集合写真



新入社員が地元農家で農作業経験

## 会社概要

・法人名：市岡製菓 株式会社  
・代表者：市岡通裕 代表取締役社長  
・所在地：徳島県小松島市江田町  
・設立年：1973年

・事業内容：油菓子・半生菓子の製造・販売  
・資本金：30,000千円  
・従業員数：78名(応募書類記載当時)  
・ホームページ： <http://www.ichioka-seika.co.jp/>